

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第92号

2009年3月発行

「新病棟完成後の外来棟・サービス棟建替え」に向けて

去る1月29日、国立病院機構本部北海道東北ブロック事務所から、菊地担当理事、宇口統括部長、佐々木業務改善指導職が当院を訪問されました。

今回の目的は、新病棟建替計画が実際に動き出したものの、当院の最近の診療成績にややかげりが生じていることを危惧され、院長以下全診療科医師と直接意見を交換しあって打開策を検討し、お互いに今後の病院運営の意欲を共有しようというものでした。会合には当院から佐藤院長を始めとして医師19名、事務部門から4名、そして看護部長が出席しました。

佐々木指導職からは、当院の今後の償還計画について具体的な数字を挙げて説明いただきました。これを基に、宇口統括部長からは、同規模他施設に比べて当院は1人1日当たりの診療点数が目だって低いことを挙げられ、これを全施設平均まで確保できれば平成24年度には新病棟に引き続いて外来・サービス棟の建替えも可能になるはずであるとの指摘を受けました。

菊地担当理事からは、入院点数の低い原因として、



入院基本料加算の取得が少ないのではないかと、また診療レセプトの算定において取り漏れや、低い単価での算定などがまだ多くあるのではないかと指摘がありました。その他

さまざまな意見交換がありました。

日ごろ入院患者数減、その結果としての収入減という面ばかりに意識が向いていたところに、当院の状態を外から分析して頂き別の視界が開ける思いがしました。これらの貴重なご意見を踏まえて、我々職員一同それぞれの持ち場に立って、多くの困難はあるでしょうが力を合わせて新外来棟・サービス棟の建替えに向けて取り組もうではありませんか。 副院長 柿崎 寛



新病棟予想図：平成22年完成予定

【冬を楽しむ — 第33回弘前城雪燈籠まつり —】

冬の生活を楽しみ、雪に親しめるようにと昭和52年から始まった「弘前城雪燈籠まつり」。33回目の今年も、2月7日(土)から11日(水・祝)の5日間開催されました。

今年は雪が降ってもあまり積もることもなく、大雪像や雪燈籠の製作が難しいのではないかと、少しばかり心配していましたが、しかし、メイン会場の四の丸でライトアップされた「一戸時計店」の大雪像は、そんな心配は無用であったと思わず唸るような出来栄でした。



題材となった「一戸時計店」は、明治32年(1899年)、仙台の三原時計店弘前支店として土手町に開業した平屋の建物を、大正9年に一戸時計店が譲り受け、2階建に改築して今に至っているものです。(仙台の時計店の支店が何故わざわざ弘前に?それは、明治29年の陸軍第八師団設置後、御用商人として仙台方面から多くの商店が弘前に進出した影響のようです。)改築

後も、屋根の上に風見鶏が立つ時計台は、土手町のシンボルとして今も変わらず親しまれています。平成20年7月23日には、弘前の歴史・文化を感じる情緒豊かで「趣のある建物」として弘前市から指定(原則として築50年以上の建物で、今年度は22件が指定されました。)



今年のイベントでは、昨年からは始まった「津軽ひろさき検定」のクイズ大会も行われ、参加者は「ひろさき」についての「おべさま(物知り)」ぶりを競っていました。

雪像や雪燈籠のしんとした「静」の美しさ、四の丸のステージで行われたライブや雪合戦大会等イベントの「動」を楽しみ、双方の魅力がたっぷり楽しめる「まつり」でした。 入院係 工藤 真淑

市民講座 1月21日(水) ～くすりの基礎知識～

30代までの私は、サプリメントのことを「気休め」か「子どものおやつ」ぐらいにしか思っていませんでした。例えば、メーカーは、栄養ドリンクにもスタミナドリンクにも、こぞってカフェインを入れています。何故かと言うと、カフェインは、飲むと一時的に脳を覚醒させる働きがあるので、飲んだ人は元気になったと勘違いするのです。こんなイメージでした。



人間には自己治癒能力が備わっており、普段の栄養素がバランスよく体内にあれば、病気はある程度防ぐことができます。現代人のからだは、加工食品の利用や、不規則な食事による栄養の不良、栄養価の低下などによって常に栄養不足気味です。いいサプリメント（栄養補助食品）は、普段の食事で不足している栄養素を補うためだけではなく、積極的に健康をつくるという目的ですぐれています。薬は、病気の人が、その病気を治すために飲むもので、いいサプリメントは、病気を予防するために飲むものなのです。

副薬剤科長 漆田 斉

【教育セミナー 呼吸リハビリテーション実技講習会】

近年、慢性呼吸不全患者に対する呼吸リハビリテーションに深い関心が集まっています。当院の教育管理委員会では、2月6日(金)に市立秋田総合病院理学療法室技師長 高橋仁美先生をお迎えして、呼吸リハビリテーション実技講習会を開催いたしました。今回は、慢性閉塞性肺疾患や急性期の呼吸リハビリテーションについての講義と実技指導をしていただきました。呼吸リハビリテーションを行うためには、「肺の正確な位置を知る」「悪い箇所を上にしてリハビリを行う」ということが基本です。実技指導は、正確な位置を把握するためのポイントや肺の位置を、参加者をモデルにして示しながら、分かり易く進められました。

参加者は、先生の実技指導を通して、効果的に行われた時の呼気音を聴いたり、お互いに正しい方法を確



認しあっていました。ユーモアを交えての実技指導は、手の位置や動きなど具体的ですぐ実践に活かせるものでした。

高橋先生の、身体の表面ではなく深部まで届くバイブレーションなどの手技は、ゴットハンドそのもの。楽しい雰囲気の中で、1時間30分の講習会は終了となりましたが、参加者一人ひとりから「明日から患者様に実施してみよう！」との意気込みが感じられました。

教育担当看護師長 福士 英子

【病院立ち入り検査】

2月6日、弘前市保健所による病院立ち入り検査が実施されました。

医療法第25条第1項に基づく立ち入り検査は、病院が医療法等の法令に規定された人員及び構造を有し、適正な管理のうえで、適正な医療を行っているかを、年1回実施されるもので、今回は、山中弘前保健所長はじめ、6名の監査官が来院されました。



検査終了後の講評では、「患者さんと接するみなさまが、健康でなければ、やっていることが無駄になる。全職員に健康診断を受けていただきたい。」との話がありました。

今年度、健康診断の受診率は98%でしたが、今後は100%を目指して受診できるよう徹底したいと考えております。

健康診断について唯一、指摘を受けましたが、その他については良好な評価でした。

今回の監査における各職場のご協力に感謝いたします。

管理課長 大類 靖

教育セミナー 佐藤初女先生講演会「食は命、いのちはすべて」

1月29日の寒い日、看護学校講堂で佐藤初女先生の講演会が開催されました。

今回は日ごろ、「医療者として私たちが行っている医療を患者さんやご家族へ正確に伝えるためには、今までの方策以上の何かがあるのではないかと」という教育管理委員会の企画コンセプトから、今、青森県で一番話題になっている女性を講演者としてお招きしました。

聴衆は130人で、テレビや本などで知られている活動の一部をお話ししてくださいました。先生は「自分が体験して感じたことしかお話し出来ませんよ！」と念を押されてお話しが始まりました。自



然界からいただく食物を私たちが食べると言う、命の受け渡し。心に悩みを持つ方が口にしておにぎりで「おいしい!」という言葉。感動の一瞬、一瞬をお話されました。「わたしは特別なことをしているわけではないのです。」と言う、自然体から出てくる言葉、ありさまが全ての人々の心に響くのかしら?と気づかせていただいた貴重な時間でした。

講演会の終了後も聴衆者が控え室に見えて感動を初女先生へ伝えておられました。

お陰様で心豊かな時を過ごすことが出来ました。

小児科医長 野村 由美子

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2009年3月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
総合診療外来		-	-	大 串 和 久	-	-
循環器内科		人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康
呼吸器科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消化器・血液内科		間 山 恒 吉 谷 元 佐 藤 年 信	吉 谷 元 藤 田 均	間 山 恒 藤 田 年 信	藤 田 均 間 山 恒	吉 谷 元 佐 藤 年 信
小児科		杉 本 和 彦 佐 藤 啓	野 村 由美子 佐 藤 工	杉 本 和 彦 佐 藤 啓	野 村 由美子 佐 藤 工	野 村 由美子 杉 本 和 彦
外科		田 澤 俊 幸 三 上 勝 也	高 橋 克 郎 三 上 勝 也	横 山 昌 樹 田 澤 俊 幸	横 山 昌 樹 高 橋 克 郎	三 上 勝 也 横 山 昌 樹
整形外科	午前	柿 崎 寛 近 江 洋 慶	柿 崎 寛 奈 良 岡 琢 哉	秋 元 博 之 近 江 洋 嗣	秋 元 博 之 又 是 洋 嗣 近 江 洋 幸 三	柿 崎 寛 秋 元 博 之
	午後	-	-	-	-	柿 崎 寛
脳神経外科		-	-	木 村 正 英	-	-
皮膚科	午前	熊 野 高 行 佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲 熊 野 高 行	佐 藤 正 憲 熊 野 高 行	熊 野 高 行 佐 藤 正 憲	熊 野 高 行 佐 藤 正 憲
	午後	● 予 約	● 手 術	● 予 約	● 手 術	● 予 約
泌尿器科		大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆
産婦人科		真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	片 桐 清 一 田 中 加 奈 子	真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	● 妊 婦 健 診 (一般外来休診)	片 桐 清 一 田 中 加 奈 子
眼科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳鼻咽喉科		黒 田 令 子 高 畑 淳 子	黒 田 令 子 高 畑 淳 子	● 手 術 (一般外来休診)	黒 田 令 子 高 畑 淳 子	黒 田 令 子 高 畑 淳 子
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	-	阿 部 由 直 (午後)	-	-	-
麻酔科		● 手 術	● 手 術	● 手 術	工 藤 明	● 手 術
女性専用外来		杉 本 菜 穂 子 (※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン・がん特別相談		-	-	-	今 充	-

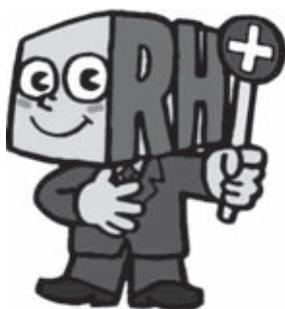
※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のABC② 輸血検査

前回に引き続いて不規則抗体の検査と交差適合試験を説明します。

不規則抗体の検査には、生理食塩水や酵素法などがありますが当院の検査室では、臨床的に意義のある抗体をできるだけ多く検出でき、更に短時間で比較的簡便な検査手順で検査ができ自動化システムが可能なカラム凝集法で行っております。患者様の血清に特殊な6種類の血球を合わせて、不規則抗体の有無を検査し、不規則抗体の存在が確認されたら、更に11種類の特殊な血球を用いて抗体の種類を同定する検査です。

※交差適合試験について。



交差適合試験は、輸血に先立ち、血液をもらう人とあげる人の血液の間で赤血球抗体に起因する抗原抗体反応が起こるかどうかを試験管内でシミュレーションして、溶血性輸血副作用を未然に防ぐ検査です。

当院の検査室では、患者様のABO、Rh0(D)血液型と不規則抗体の検査を事前に行い、臨床的に問題となる不規則抗体が陰性である場合には、ABO血液型とRh0(D)血液型が同型であることを確認した製剤と交差適合試験を実施しております。

最後に輸血は、色々な輸血副作用がありますから輸血後感染症検査を受ける事をおすすめします。

臨床検査技師 橘 輝彦



栄養管理室が「春の新メニューを展開中」



12月から2月にかけて、海鮮丼やマグロ漬け丼など生ものを提供しましたが、生ものを提供する日は、朝から大忙しです。

大きなまな板の上で、①ネタを切り②大きなすし桶で酢飯を作り③全員で一気に盛り付けるのです。今回は、その「盛り付け」について紹介したいと思います。

前日、下処理の段階で栄養士と調理師が、ネタの切り方や盛り付け方の協議を行います。当日、盛り付けの直前にも必ず試作品を作り、最終確認を行います。そのポイントは、1、すし飯の量とネタのバランスは良いか？ 2、色彩は良いか？ 3、ネタの配置は良いか？などです。

最終確認後、いよいよ盛り付け開始です。ここからは時間との勝負、調理室内は“戦闘モード”になります。

「時間が迫ってる!!」「今、どこの病棟まで丼をセットした!?!」など、緊迫した声が響き渡りますが、配膳車が病棟に向けて出発した後は、栄養管理室一同に笑顔が戻ってきます。現在は、春に向けての特別メニューの企画・試作を行っています。

これからも、安全、安心に心懸けて、「味、美、そして時間との勝負」に、挑戦し続けていきます。
栄養士 沢谷 里江



「2月3日 節分の日」

風の子保育園の子ども達が、病院の管理棟で自分の作った色とりどりのお面をかぶり「鬼は外! 福は内!」と威勢のいい声とともに、豆まきを行いました。



1週間前から、節分の行事に興味を持てるようにと、鬼のイメージを話し合い、クラスごとに鬼のお面づくりをしました。トイレットペーパーの芯を使って、大きい口を開けた鬼、ダンボールを顔型に切った鬼、風船を大きく膨らませ、半紙・色紙を重ねて貼った鬼。最後にチラシを折ってシールを貼りつけ、豆まき箱を作りました。いろいろ

な活動を通して節分への期待感をつのらせ盛り上がりを見せていました。

保育園の玄関にも昔からの風習を取り入れ、豆がら、柊の枝にイワシを刺し、魔よけをしました。3日の当日は、園児全員で「おなかの中に鬼がいる」の絵本を見て、おなかの中にくいしんぼう鬼、めんどくさがりや鬼、へそまがり鬼、なきむし鬼が住んでいることを知りました。その後、自分で作ったお面を並べて、大きな声で「鬼は外! 福は内!」と豆まきをして、おなかの中の鬼退治をしました。

今年も子ども達の笑顔と、元気な豆まきパワーで幸せな春を運んでくれることと思います。
風の子保育園長 諏訪 栄子

ふるさと紹介 — 青森市浪岡 —

私のふるさとは『青森市浪岡』、平成17年4月青森市と浪岡町が合併しました。統合前、浪岡町は全国町村日本一のリンゴ産地でしたが、今では浪岡町の特色(りんご、中世の館、飛行場のある町・青森空港等)は薄くなり、青森市(人口30万人)の一部になりつつあります。地理的には、青森市(40分)、弘前市(30分)、黒石市(15分)、五所川原市(20分)と交通の要所にあります。「青森空港」「浪岡インター」などがあり、2010年度東北新幹線の新青森駅開業により、ますます重要な交通の拠点として発展が期待されています。

時を同じく浪岡駅前の整備も進んでおります。

浪岡はリンゴ以外に大きな産業はありませんが、田舎の良さがあり、なかでも「道の駅なみおか」は国道7号線沿いにあり「産地直売の店」「レストラン」「ふくろう館」等が並び、週末は家族連れで賑わっています。また、秀峰岩木山がとても良く見える街です。ふるさとの風景は、私の中の世界遺産です。企画課長 加藤 清



【今月の川柳】

★【川柳募集】あなたの川柳をお待ちしています。

入院で「振り込めサギ」の 心配なし! (カマタ)

母入院「湯たんぽ」だけが そこにあり (仁)

掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

お知らせ ◆BFH 記念講演

3月20日(金)13時~15時 会場 当院 地域医療研修センター1階研修室
テーマ「響きあういのち」講師 山王教育研究所 臨床心理士 橋本 洋子 先生
入場無料・要登録(弘前病院管理課までお申し込みください)

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>